

今月の経済動向（平成30年2月）

● 月例経済報告

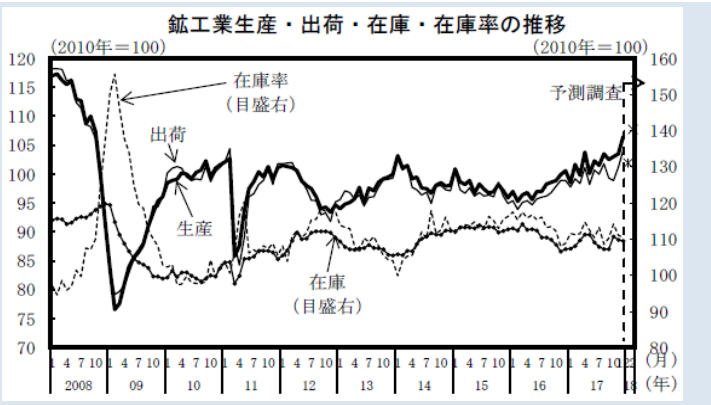
<p><b>基調判断</b></p>	<p>(2月) 景気は、緩やかに回復している。 先行きについては、雇用・所得環境の改善が続かなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。</p> <p>(1月) 景気は、緩やかに回復している。 先行きについては、雇用・所得環境の改善が続かなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。</p>
<p><b>個人消費</b></p>	<p>(2月) 持ち直している。</p> <p>(1月) 持ち直している。</p> <div data-bbox="687 421 1362 810"> <p>消費総合指数と実質総雇用者所得</p> </div>
<p><b>設備投資</b></p>	<p>(2月) 緩やかに増加している。</p> <p>(1月) 緩やかに増加している。</p> <div data-bbox="687 828 1362 1218"> <p>製造業・非製造業の設備投資（実質）</p> </div>
<p><b>住宅建設</b></p>	<p>(2月) 弱含んでいる。</p> <p>※「このところ」を削除 内閣府では、3ヶ月連続して同じ傾向となった場合に「このところ」の文言を削除している。</p> <p>(1月) このところ弱含んでいる。</p> <div data-bbox="687 1236 1362 1626"> <p>住宅着工戸数（季節調整値）</p> </div>
<p><b>雇用情勢</b></p>	<p>(2月) 着実に改善している。</p> <p>(1月) 着実に改善している。</p> <div data-bbox="687 1644 1362 2033"> <p>雇用者数、就業者数の推移</p> </div>

月例経済報告：内閣府

**生産**

(2月) 緩やかに増加している。

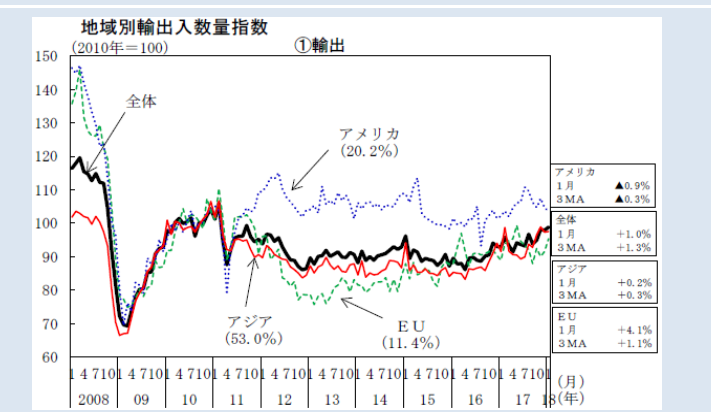
(1月) 緩やかに増加している。



**輸出**

(2月) 持ち直している。

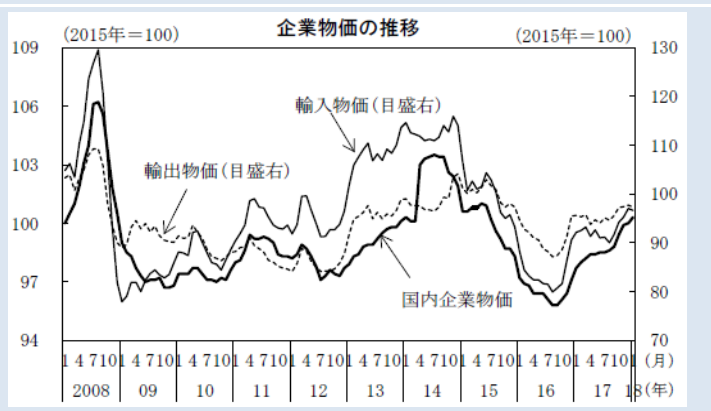
(1月) 持ち直している。



**国内企業物価**

(2月) 緩やかに上昇している。

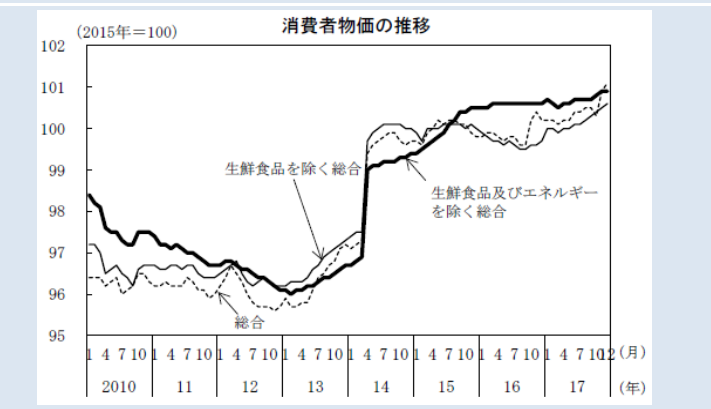
(1月) 緩やかに上昇している。



**消費者物価**

(2月) 横ばいとなっている。

(1月) 横ばいとなっている。



**海外経済**

(2月) 世界の景気は、緩やかに回復している。先行きについては、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、中国を始めアジア新興国等の経済の先行き、政策に関する不確実性による影響、金融資本市場の変動の影響等について留意する必要がある。

(1月) 世界の景気は、緩やかに回復している。先行きについては、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、中国をはじめアジア新興国等の経済の先行き、政策に関する不確実性による影響、金融資本市場の変動の影響等について留意する必要がある。

[月例経済報告：内閣府](#)

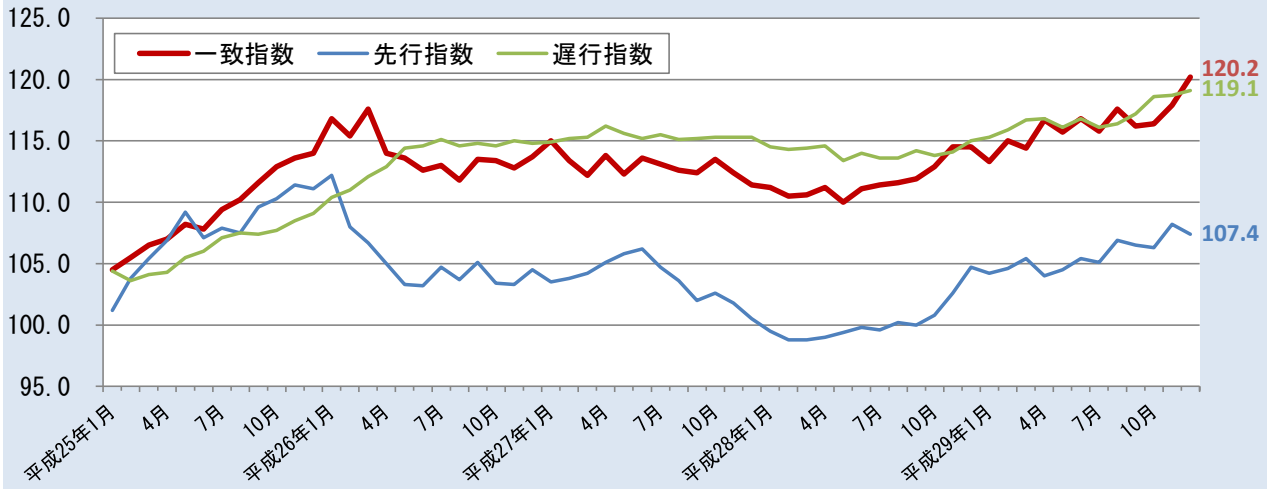
● 景気動向指数（平成29年12月・改訂値）

平成29年12月のCI一致指数（改訂値）は前月より2.3ポイント高い120.2ポイントとなった。  
 CI先行指数は前月より0.8ポイント低い107.4ポイント、遅行指数は前月より0.4ポイント高い119.1ポイントとなった。  
 景気の基調判断（CI一致指数）は、「改善を示している」を据え置いた。

※CI先行指数は算出に用いるデータが遡及改訂されたため、全期間の値が遡及改訂された。  
 またCI遅行指数は算出に用いるデータが一部遡及改訂されたため、平成29年10月以降の値が遡及改訂された。  
 このため、前月との比較は改訂後の数値で比較しており、前月発表された数値との比較ではないことに注意。

・CIの推移

（平成22年=100）



[景気動向指数：内閣府](#)